

第46回 全日本中学生

水の作文 コンクール

作品
募集

考えよう。
そして伝えよう。
大切な「みず」のこと。

「水」をテーマにした作文を募集します。
「水」とは、みなさんにとって、
どんな存在ですか？
暮らしの中での体験や、
授業などで学んだこと、調べたこと・・・
みなさんにとって、
大切な「水」への思いを
つづってみませんか？



ポケットモンスター
No.134 シャワーズ

タイプ みず とくせい ちょすい

シャワーズはきれいな水辺に生息し、細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」応援大使として8月1日「水の日」を応援しています。

Photo:
中津寺湖 (栃木県日光市)

◆ メインテーマ

水について考える
(個別の題名は自由)

◆ 応募対象

中学生(2024年4月時点)
海外からの応募もお待ちしております。
※作品は日本語でお書きください。

◆ 応募締切

【国内】各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせください
【海外】令和6年5月17日(金)

◆ 提出先(問い合わせ先)

国土交通省水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号
TEL:03-5253-8386(直通)

【主催】

水循環政策本部、国土交通省、都道府県
【後援】 文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

水の作文 検索

※詳しくは、二次元バーコードから
「水の作文コンクール」ページを
ご覧ください。



8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日は「水の日」と定めています。8月1日から7日は「水の週間」です。

第46回「全日本中学生水の作文コンクール」沖縄県審査募集要項

8月1日は「水の日」、この日から一週間は「水の週間」と定められており、全国で水についての理解を深めるため各種行事が実施されています。

沖縄県は多くの島々からなり、安定的に使用できる水の確保が難しい環境にあります。水は生命の源であり、水の有限性や貴重さは常に認識する必要があると考えます。

水の有効利用等広く水に対する関心を高めていただく一環として、次代を担う中学生の皆さんを対象に水の作文コンクールを実施します。

本作文コンクールをきっかけに各ご家庭で水の有効利用や大切さについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

1 テーマ 「水について考える」 (題名は自由)

皆さんは普段当たり前のように使っている水について、どこまで知っているでしょうか。水は循環型の資源と言われています。水は使うと無くなってしまいうのではなく、太陽のエネルギーを受けて海等から蒸発し、雲から雨や雪になって地表を潤し、地下水、河川などを経て再び海に戻る自然の大循環を繰り返します。水循環基本法では、水循環とは、水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水又は地下水として河川の流域を中心に循環することと規定されています。私たちが「水を使う」ということは、この循環の過程で一時的に水を使用し、再び水の循環の中へ戻していることとなります。

「水を使う」と聞いて皆さんはどんなことを思い浮かべますか。私たちは水を飲み水や料理、トイレ、シャワーなど普段の生活で使っています。プールや川、海で遊ぶのはもちろん、水辺のジョギングや散歩を楽しんでいる人はたくさんいます。農業や工業にも多くの水が使われていますし、発電にも使われています。大切な「水を使う」ためにダムや取水堰^{しゅすいげき}、発電所、用水路や浄水場、水道管がつけられています。また、私たちが使った水を自然の中に戻すためにきれいにする下水処理場などの施設もあります。ダム等の施設をつくるために協力してくれた水源地域の方々があります。水を安全に安心して使えるようにするため、水に係わる仕事をしている人がたくさんいます。

また、普段、私たちに潤いをもたらしてくれる水も、雨として集中的に降れば洪水が発生します。ずっと降らなければ渇水になってしまいます。このような自然災害が毎年のように各地で発生しています。また、世界に目を向ければ、国によってはきれいな水を使えない人がいます。普段、当たり前のように使っている水ですが、実は知っているようで知らないことが多いと思います。

この機会に、水についての理解を深めるとともに、皆さんの暮らしの中で体験している水にまつわる話や、祖父母、両親、先生から聞いた話、自分で調べたことなどをもとに、水についての考えや今後の水の使い方についてまとめてみましょう。

2 主催・後援 (予定)

主催 沖縄県(各都道府県)、水循環政策本部、国土交通省

後援 文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

3 応募資格 令和6年度の県内中学1年生、2年生、3年生

4 原稿 400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記された個人作品に限ります。

5 応募締切日 令和6年5月8日(水) 必着

6 注意事項

(1) 作文には、本文の前(原稿用紙枠内)に「題名」、「学校名(ふりがな)」、「学年」、「氏名(ふりがな)」を記入し、次の送付先に示すあて先に送付してください。

※令和6年度の学年を記入してください。

(2) 筆圧は薄すぎないか、誤字・脱字、括弧の書き方など基本的なことはできているか確認をお願いします。特に筆圧については、薄すぎると審査に支障を来しますのでご注意ください。

(3) 手書きでの提出をお願いします。パソコンでの作成は不可とします。

7 送付及びお問い合わせ先

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2

沖縄県企画部 地域・離島課 地域振興班

TEL: 098-866-2370 FAX: 098-866-2068

8 審査

沖縄県において、応募締切後速やかに審査を行い、県知事表彰作品(10編以内)を決定します。さらに、県知事表彰作品の中から5編以内を優秀賞作品として選定します。

9 表彰(予定)

沖縄県知事表彰(会場: 沖縄県庁) 令和6年8月

◇優秀賞 5名以内

賞品: 賞状、副賞

◇入選 5名以内

賞品: 賞状、副賞

10 発表

沖縄県審査における入賞発表は、決定後(令和6年6月予定)、学校を通じて入賞者へ通知します。

11 中央審査について(予定)

(1) 中央審査への推薦

沖縄県審査優秀賞作品(5編以内)を国土交通省で行なわれる中央審査へ推薦します。

(2) 中央審査

令和6年7月上旬までに国土交通省水管理・国土保全局水資源部及び中央審査会が審査を行い、入賞作文（最優秀賞、優秀賞及び入選）を決定します。

(3) 中央審査表彰

- ◇ 最優秀賞 内閣総理大臣賞 1名
(賞品：賞状、副賞)
- ◇ 優秀賞 農林水産大臣賞 1名
経済産業大臣賞 1名
国土交通大臣賞 1名
環境大臣賞 1名
水の週間実行委員会会長賞 1名
独立行政法人水資源機構理事長賞 1名
全日本中学校長会会長賞 1名
シャワーズ賞 1名
中央審査会特別賞 必要に応じて
(賞品：それぞれに賞状、副賞)
- ◇ 入選 30名程度
(賞品：賞状、副賞)
- ◇ 佳作 中央審査会へ作文が送付された者のうち、最優秀賞、優秀賞、入選の受賞者を除く者全員
(賞品：記念品)

(4) 一日事務所長体験

最優秀賞及び優秀賞受賞者のうち、希望者については、在住地域の地方整備局等又は水資源機構の現地事務所において、「一日事務所長」の体験（管内巡視、PR活動等）をしていただけます。

(5) 中央審査発表

中央審査の入賞発表は令和6年7月中旬に行い、沖縄県を通じて入賞者へ通知します。

12 その他

- (1) 応募作品は自作の未発表のものに限ります。なお、生成AIによる生成物は認められません
- (2) 応募作品の返却はしません。
- (3) 入賞作文については、作文のほか、記載された学校名・学年・氏名を沖縄県のホームページに掲載するほか、国土交通省のホームページや作品集、報道機関を含めた関係者へも提供することとなりますので、あらかじめご承諾の上、ご応募ください。
- (4) 本コンクールの応募作文に記載される個人情報、本コンクールの運営に必要な範囲で利用します。また、応募者の同意なく、本来の利用目的を超えて転用することはありません。
- (5) 沖縄県ホームページに募集要項や過去の県内入賞者及び作品を掲載しています。
ホーム＞県政情報＞離島振興・地域振興＞計画・施策＞地域振興施策＞水の有効利用の促進＞水の有限性や節水思想の普及・啓発＞水の作文コンクール関連